

## 世界冬の都市市長会（3以上の自治体間での交流／会議形式）

<http://www.city.sapporo.jp/somu/kokusai/wvcam/index-j.html>

### 交流団体名

日本側		相手側		
自治体名	交流団体名	国・地域名	自治体名	交流団体名
札幌市		中国・ロシア・韓国他	長春・マガダン・太白他	

### 交流の概要

本会は、「冬は資源であり、財産である」というスローガンのもと、世界の冬の都市が集まり、冬の技術や経験を学びあうためのネットワークです。1981年に札幌市が提唱し、翌年に第1回会議を開催しました。2年に1度開催される市長会議では、市長同士がそれぞれの都市の知恵と経験を共有し、まちづくりのアイデアを学び合っており、近年は特に、地球温暖化問題などの環境問題に力を入れて取り組んでいます。



【 マールドゥ市長会議に参加する開催市のブストロフ市長（左）と会長の上田札幌市長（右）  
（2010年1月）



【 市長会議では各会員都市市長が自ら、環境問題などについて活発に意見交換を行います 】

### 今後の展望・課題

本会は設立後30年を迎えますが、札幌市が標榜する「北方圏の拠点都市」を体現する一機能を担っています。他方、設立当時に比べ急速にグローバル化が進み、都市間競争も激化する中、より効果的で機能的な国際ネットワークを目指していきたいと考えています。なお、2012年1月にはモンゴル・ウランバートル市において「冬の都市におけるエネルギーの節約と効果的な消費」をテーマに市長会議が開催される予定です。

### 優れた特色

「厳しい寒さ」や「長期間の積雪」という困難な状況に対し、「冬は資源であり、財産である」という前向きなスローガンを打ち出して気候・風土が似通った世界の都市がアイデアを出し合い、共通の課題について議論する等発展的な会議を継続している。